

# 「地籍情報管理活用システム」のご紹介

GIS大縮尺空間データ官民共有化推進協議会で作成・管理されている「大阪府位置参照点閲覧システム」を活用し、平成18年3月に国土交通省土地・水資源局国土調査課より各市町村自治体へ無料配布されている「地籍情報管理活用システム」を紹介します。

## 「地籍情報管理活用システム」とは？

都市整備に伴う事業による測量成果等を用い、一筆地調査及び地積測量を簡略化した、**簡便な地籍調査を実施**するもの又は、図根点を先行的に設置し、それに基づいた**土地の異動情報を蓄積**することにより、地域全体を対象とした将来の地籍調査に資するよう、地籍調査を効率的に支援するために、**都市再生街区基本調査の成果を元に管理活用**するシステム。

## 《主な機能》

### ▶ライセンスフリー

ライセンス費用のかからないGISエンジンを使用しているため、利用者は**無償で利用**することができます。

### ▶汎用的なGISフォーマットを使用

本ソフトで構築されたデータはシェープファイル形式を使用しているため、**他のGISへ容易に受け渡し**することができます。

### ▶図形データ・属性データ別々に管理

図形(シェープファイル形式)と属性は**別々に管理**し、属性データはデータベースに格納しています。

### ▶システム操作が簡便

管理・活用のための機能を整理し**システム操作を簡便**にしています。

### ▶基準点・街区点等の資料検索・表示

電子納品されたデータの中から図形データに該当する資料を**検索して表示**します。

### ▶基準点・境界点の各種データフォーマットの取込

基準点・境界点データ(街区基準点)は整理簿形式、SIMA形式に対応して図形データへ変換して取り込みます。また、データ出力においても**SIMA形式**へ対応しているため、**測量ソフト等へのデータ受け渡し**が容易に行えます。

### ▶地籍フォーマット2000データの取込

地籍フォーマット2000形式で作成された調査素図等のデータを**図形データ(シェープファイル形式)へ変換し取り込み**ます。

### ▶図面・表の出力機能

汎用的な図面、境界等の証明図(**証明書発行機能**)、基準点の成果表・**一覧表出力**が行えます。

### ▶座標変換機能

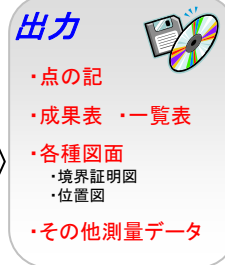
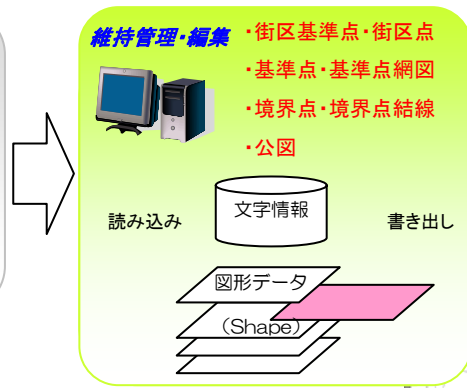
既存の地積図等、**局地座標(図面座標)の座標系を公共座標系へ変換**することができます。既存成果を評価してから変換することができるように、等値線図方式を採用しています。

### ▶図形編集機能

測量CAD等既存の地積図等、**局地座標(図面座標)の座標系を公共座標系へ変換**することができます。既存成果を評価してから変換することができるように、**等値線図(コンター)方式**を採用しています。

「地籍情報管理活用システム」は、**地籍調査事業を効率的に実施**するため、国家座標軸に基づいて作成された地積測量図の座標値等を継続的に収集し、都市再生地籍調査事業等によって作成された**成果を継続的に更新**することを目的としています。

## システム起動画面



操作のしやすい簡易な編集機能



既存成果の維持管理



境界証明図の発行

～講習風景～  
大阪会場「近畿測量専門学校 パソコン実習室」

